

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52501	保育・教職実践演習(幼) Childcare and educational practice	児玉・服部・太田	○	共通	2	必修	2後期
科目の概要							
<p>保育者としてさらに実践力を高めるため、本科目においては、保育実践力、学級経営力、地域における保育コーディネート力を中心とした授業内容とする。幼児教育及び保育の現場で活躍するための専門的知識や技能を、協調性をもって柔軟に活用できるように学ぶ。演習を中心として、模擬保育やグループ討議、ロールプレイング等における主体的な活動を通して、保育者としての使命感や責任感を養う。★幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① これまでの実習を振り返り、さらに高い保育実践力を身に付ける。 ② 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付ける。 ③ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付ける。</p>				<p>① これまでの実習を振り返り、さらに高い保育実践力を身に付けることができる。 ② 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付けることができる。 ③ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付けることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題意識を持ち、グループワーク等、自主的に参加することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	グループワークや発表において、課題を期限に提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	毎回の授業において自分の課題を発見し、課題解決に向けて努力することができる。					
	計画力						
	創造力	模擬保育において適切な素材のよる教材制作をすることができる。					
チームで働く力	発信力	実践演習の保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きができ、また、自分の意見をまとめ他者にわかりやすく発信する。					
	傾聴力	他者の言葉に集中し、自分と異なる意見を謙虚に受け止める姿勢を持つことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：教員作成プリント等 参考文献：保育・教育に関する実践事例集 「幼稚園教育要領解説」文部科学省・「保育所保育指針解説書」厚生労働省・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>他科目との関連：すべての教科 資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士資格</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
現場に立つ保育者として必要な実践力をできるだけ身に付けていく授業である。保育者、先生としての意識を持って授業に参加すること。				<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてふさわしい受講態度を毎回守ること。 ・授業の雰囲気を作るのは、全員の参加態度であることを意識して授業に臨むようにすること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		30	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			60	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が90%以上をS(秀)の基準とする。</p> <p>レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が80%以上90%以下ををA(優)の基準とする。</p>	<p>レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が70%以上、80%未満をB(良)の基準とする。</p> <p>レポート、成果発表、社会人基礎力の合計が60%以上、70%未満をC(可)の基準とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の目的と意義について学ぶ。実践的な指導力や手法習得するための実践演習の授業内容について学ぶ。(児玉・太田・服部)	講義(全体)	授業の目的と意義、内容を理解し、授業の学びに対し、課題意識を持つことができる。	(予習) 授業内容の把握 (復習) 次の授業について予習をしておく。 指導計画作成等	180	主体性 傾聴力 規律性
2	教育現場での教育者の実践的な指導を通して、保育者として望ましい姿を学ぶ。 集団遊びにおける言葉かけや雰囲気創りについて実践的に学ぶ。(児玉・太田・服部・外部講師)	演習(G1・G2) 質疑応答	本日の学びをレポートにまとめ提出	(予習) 集団遊びについて調べておく。 (復習) 授業内容の復習を行い、感想レポートを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	実践者：保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役：対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者：実践を考察、検討する。(太田・服部・児玉)	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習) 保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備をする。 演習対象年齢の発達を理解しておく。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	実践者：保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役：対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者：実践を考察、検討する。(太田・服部・児玉)	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習) 保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備をする。 演習対象年齢の発達を理解しておく。 (復習) 助言内容を反映させ、指導案を再検討する。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	実践者：保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役：対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者：実践を考察、検討する。(太田・服部・児玉)	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習) 保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備 演習対象年齢の発達を理解しておく。 (復習) 助言内容を反映させ、指導案を再検討する。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
6	実践者：保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役：対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者：実践を考察、検討する。(太田・服部・児玉)	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習) 保育内容を考え指導案を立案する。教材準備 演習対象年齢の発達を理解しておく。 (復習) 助言内容を反映させ、指導案を再検討する。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
7	家庭との連携 事例に基づき、保護者からの相談や要望への対応について、グループ発表及びディスカッションを通して検討する。(服部・児玉・太田)	グループ発表 ディスカッション 発表内容に対しコメントしフィードバックする。	さまざまな不安を抱える保護者の心情を理解し、相談や要望への適切な対応について、意見を述べるができる。	(予習) これまでの実習で観察した保護者への対応を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
8	安全管理と事故防止 園外活動での安全管理について、園で活用されているマニュアルを参考にロールプレイ及びディスカッションを通して検討する。(服部・児玉・太田)	ロールプレイング ディスカッション ディスカッションの内容を総括し、フィードバックする。	園外活動で起こりやすい事故の事例を知り、事故防止のための対策について、意見を述べるができる。	(予習) これまでの実習で経験した園での安全管理の体制を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	関係機関との連携 (1) 子どもへの暴力防止プログラム (CAP) に携わる NPOの方々によるワークショップを通して、子どもにとって安全で安心できる地域社会づくりについて検討する。(服部・児玉・太田・外部講師)	演習 ワークショップ	虐待防止のための関係機関との連携のあり方について、意見を述べるができる。	(予習) これまでに学修した被虐待児童への対応を振り返る。 (復習) ワークショップを通して学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
10	関係機関との連携 (2) 事例に基づき、発達障害などの特別支援を必要とする子どもとその保護者への対応について、ロールプレイ及びディスカッションを通して検討する。(服部・児玉・太田)	ロールプレイング ディスカッション ディスカッションの内容を総括し、フィードバックする。	特別支援を必要とする子どもへの対応事例を知り、そうした子どもへの支援や配慮について、意見を述べるができる。	(予習) これまでに学修した特別支援を必要とする子どもへの対応を振り返る。 (復習) ディスカッションの内容や学んだ内容を小レポートにまとめ提出する。	180	実行力 課題発見力 発信力 規律性
11	保育者の配慮や言葉かけについて考える① 実習において対応が困難であった場面を振り返り発表する。場面ごとに分類し、2名グループごとに担当場面を決める。こどもの気持ちや具体的な対応の仕方について話し合い、発表PWを作成する。 (児玉・太田・服部)	個別課題発表 グループディスカッション 質疑応答	実習において対応が困難であった場面を振り返り、具体的に発表することができる。 発表内容を傾聴し、評価シートに記入し、質疑応答に参加することができる。	(予習) 教育実習及び保育実習の記録ノートを読み返し、対応が困難であった場面を具体的に記述して提出する。 (復習) 担当場面について、発表PWを作成する。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	保育者の配慮や言葉かけについて考える② 話を聞く場面・様々な子どもへの言葉かけの場面での対応について、対応方法グループ発表する。視聴学生は発表について、評価シートを記入し、対応方法や感想等、全体で意見交換する。 (児玉・太田・服部)	グループ発表 グループディスカッション 学生の相互評価 全体ディスカッション 教員への質疑応答	担当場面について、こどもの気持ちや保育者としての配慮、言葉かけ等、具体的に対応方法を考え、PWにまとめ、資料を配布することができる。 発表学生は、学生たちが理解できるように伝えることができる。 発表内容を傾聴し、評価シートに記入し、質疑応答に参加することができる。	(予習) 担当場面について、発表できるようにPWにまとめ、配布資料を準備する。 (復習) 全体ディスカッションでの意見を反映させ、対応方法を再考し、まとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
13	保育者の配慮や言葉かけについて考える③ ケンカ・トラブルの場面での対応について、グループ発表する。視聴学生は発表について、評価シートを記入し、対応方法や感想等、全体で意見交換する。 (児玉・太田・服部)	グループ発表 グループディスカッション 学生の相互評価 全体ディスカッション 教員への質疑応答	担当場面について、こどもの気持ちや保育者としての配慮、言葉かけ等、具体的に対応方法を考え、PWにまとめることができる。 発表学生は、学生たちが理解できるように伝えることができる。 発表内容を傾聴し、評価シートに記入し、質疑応答に参加することができる。	(予習) 担当場面について、発表できるようにPWにまとめ、配布資料を準備する。 (復習) 全体ディスカッションでの意見を反映させ、対応方法を再考し、まとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	保育者の配慮や言葉かけについて考える④ 給食の場面・特別に配慮が必要な場面・その他の場面での対応についてグループ発表する。視聴学生は発表について、評価シートを記入し、対応方法や感想等、全体で意見交換する。 (児玉・太田・服部)	グループ発表 グループディスカッション 学生の相互評価 全体ディスカッション 教員への質疑応答	担当場面について、こどもの気持ちや保育者としての配慮、言葉かけ等、具体的に対応方法を考え、PWにまとめることができる。 発表学生は、学生たちが理解できるように伝えることができる。 発表内容を傾聴し、評価シートに記入し、質疑応答に参加することができる。	(予習) 担当場面について、発表できるようにPWにまとめ、配布資料を準備する。 (復習) 全体ディスカッションでの意見を反映させ、対応方法を再考し、まとめる。課題事例プリントについて記入し、提出する。	180	実行力 課題発見力 創造力 規律性
15	幼保小連携講演 (外部講師) 授業振り返り (児玉・太田・服部)	講義 穴埋めプリントで幼保小に関連した専門用語や意味を学ぶ。 全体ディスカッション	幼保小の連携で現在考えられていることは何かを学ぶことにより、就学前の子供たちの育ちに必要なことは何かを理解することができる。	(予習) 幼児教育から小学校へ進学するときの子どもの期待感不安感について考えておく。 (復習) 講演内容の振り返りレポートを提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力